

## 第5章 『通勤ライナー』の現状

第3章では、『通勤ライナー』を「東京都23区内の駅に9時台までに到着)、および夕方下り(東京都23区内の駅を18時以降に発車)に別建てで走っている追加料金の必要な列車」と定義し、首都圏を走るものを分析の対象とすることを述べた。本章では、『通勤ライナー』をJRと私鉄各社とに分け、どのような運行がなされているのか、その現状を分析する。

なお、本研究での列車の名称、停車駅、時刻は全て、交通新聞社(2019)『My LINE(マイライン) 東京時刻表 2019年3月号』に掲載されているものである。

### 1. JR を走る『通勤ライナー』の現状

首都圏のJR各線において、主だった所では、東海道線、総武線、京葉線、横須賀線、中央線、常磐線、高崎線において『通勤ライナー』が運行されている。

#### ・東海道線

名称	始発駅	終着駅
湘南ライナー2号	小田原	東京 (7:49)
湘南ライナー4号	小田原	品川 (7:40)
湘南ライナー6号	小田原	東京 (8:13)
湘南ライナー8号	小田原	東京 (8:41)
湘南ライナー10号	小田原	品川 (8:40)
湘南ライナー12号	小田原	東京 (9:22)
湘南ライナー14号	小田原	東京 (9:26)
おはようライナー新宿22号	小田原	新宿 (7:43)
おはようライナー新宿24号	小田原	新宿 (8:27)
おはようライナー新宿26号	小田原	新宿 (9:02)

図表 1-5-1-1 東海道線を走る『通勤ライナー』

・ 総武線

名称	始発駅	終着駅	備考
しおさい 2 号	成東	東京 (7:17)	
しおさい 4 号	佐倉	東京 (8:00)	
しおさい 6 号	銚子	東京 (9:37)	
成田エクスプレス 2 号	成田空港	新宿/大船	東京 (9:03)
成田エクスプレス 4 号	成田空港	池袋/大船	東京 (9:27)
成田エクスプレス 6 号	成田空港	池袋/横浜	東京 (9:53)
あずさ 3 号	千葉	南小谷	新宿 (7:30)

図表 1-5-1-2 総武線を走る『通勤ライナー』

・ 京葉線

名称	始発駅	終着駅
わかしお 2 号	茂原	東京 (7:08)
わかしお 4 号	勝浦	東京 (9:01)
わかしお 6 号	安房鴨川	東京 (9:34)
さざなみ 2 号	君津	東京 (6:57)
さざなみ 4 号	君津	東京 (8:46)
さざなみ 6 号	君津	東京 (9:13)

図表 1-5-1-3 京葉線を走る『通勤ライナー』

・ 横須賀線

名称	始発駅	終着駅	備考
成田エクスプレス 1 号	大船	成田空港	東京 (6:12)
成田エクスプレス 3 号	大船	成田空港	東京 (6:54)
成田エクスプレス 5 号	大船	成田空港	東京 (7:09)
成田エクスプレス 7 号	大船	成田空港	東京 (7:25)
成田エクスプレス 13 号	大船	成田空港	東京 (8:57)
成田エクスプレス 15 号	大船	成田空港	東京 (9:57)

図表 1-5-1-4 横須賀線を走る『通勤ライナー』

・中央線

名称	始発駅	終着駅	備考
はちおうじ 2 号	八王子	東京 (7:06)	
はちおうじ 4 号	八王子	東京 (7:42)	
おうめ 2 号	青梅	東京 (7:31)	
かいじ 2 号	竜王	新宿 (9:04)	
かいじ 4 号	竜王	東京	新宿 (9:54)
あずさ 2 号	松本	東京 (9:27)	
あずさ 4 号	松本	新宿 (9:26)	
成田エクスプレス 3 号	高尾	成田空港	新宿 (6:34)
成田エクスプレス 5 号	高尾	成田空港	新宿 (7:06)

図表 1-5-1-5 中央線を走る『通勤ライナー』

・常磐線

名称	始発駅	終着駅
ときわ 52 号	土浦	上野 (7:05)
ときわ 54 号	勝田	上野 (7:23)
ときわ 56 号	勝田	上野 (7:42)
ときわ 58 号	高萩	品川 (8:13)
ときわ 60 号	勝田	上野 (8:43)
ときわ 62 号	高萩	品川 (9:31)
ひたち 2 号	いわき	品川 (9:13)
ひたち 4 号	いわき	品川 (9:49)

図表 1-5-1-6 常磐線を走る『通勤ライナー』

・高崎線

名称	始発駅	終着駅
スワローあかぎ 2 号	熊谷	上野 (7:05)
スワローあかぎ 4 号	高崎	新宿 (9:11)
スワローあかぎ 6 号	高崎	新宿 (9:39)

図表 1-5-1-7 高崎線を走る『通勤ライナー』

以上の表から、朝の通勤時間帯にも『通勤ライナー』相当列車(多くは特急列車)が運行されていることが分かる。しかし、着目すべき点は朝ラッシュピーク時(都心着 8 時台前半)に走る列車が少ないことである。実際、7 時台や 9 時台にはいくつかの列車が運行されているものの、朝ラッシュピーク時で、東京 23 区内の駅に午前 8 時台前半に到着するように運行されているものは、表 1-5-1-1 中湘南ライナー6 号、表 1-5-1-2 中しおさい 4 号、表 1-5-1-6 中ときわ 58 号のみである。

## 2. 私鉄を走る『通勤ライナー』の現状

### (1)私鉄における『通勤ライナー』の特徴

関東の私鉄の多くは都心に主要ターミナルを有し、これとは別にやや郊外よりの地点から地下鉄乗り入れを行うという形態をもつものが多い(例外として西武新宿線は地下鉄直通がなく、東急田園都市線・東急東横線・京急本線は本線の終着点そのまま地下鉄線に直通している)。そして特急やライナーは一部例外を除き、自社の郊外駅より出発し自社ターミナルに乗り入れる自己完結型で運行される。

### (2)『通勤ライナー』の運行形態

ここからは各鉄道会社について述べていく。25,26 ページに当会で調査した私鉄のライナー列車一覧があるので適宜参照していただきたい。

・小田急電鉄

日中、箱根・江ノ島に向けて運行される特急列車の都心送り込みを兼ねて主に小田原線から 12 本運行されている。始発駅は相模大野、本厚木、

秦野、小田原、藤沢、片瀬江ノ島とバラエティーに富んでおり、千代田線直通の列車を運行しているという特徴もある。

- ・京成電鉄

スカイライナーで使用される形式を使い運転されるが、早朝にスカイライナーで運行される便も多いため、送り込み運用の割には小田急電鉄より本数は少なく 4 本運行されている。日中のスカイライナーは、成田スカイアクセス線経由で運行されるが、朝ラッシュ時のモーニングライナーはすべて沿線人口の多い京成本線経由で運行されている。

- ・西武鉄道

S-Train や Laview を導入するなど有料着席列車に力を入れている西武鉄道では、池袋線、新宿線あわせて 17 本の『通勤ライナー』が設定されている。始発駅は本川越、飯能、西武秩父、所沢となっている。このうち S-Train のみ有楽町線に乗り入れる形態である。

- ・東武鉄道

有料特急を持つ伊勢崎線系統では送り込み特急として運用される列車も多く、栃木エリア群馬エリア埼玉東部エリアから来る列車があわせて 14 本、浅草行として設定されている。

対照的に、有料特急が設定されていない東上線系統では、『通勤ライナー』用に転換クロスシート車を用いた 2 本のみ運転されている。これは、朝ラッシュ前に都心についた車両が折り返して朝ラッシュ終わりのライナーに充当されるためである。森林公園駅を始発としているのは、通勤圏のほぼ終端にあたり車両基地もあるからであろう。

- ・京王電鉄

東武東上線と同じく有料特急の設定されていない京王電鉄では、中央線に対抗する形で新形式による『通勤ライナー』の運行を開始した。橋本発と京王八王子発が各 2 本運転され、本数が増える調布以東ではなく東京西部を中心とした利用者をターゲットとしている。

- ・東急電鉄

在京の大手私鉄では唯一、本研究で分析の対象とする『通勤ライナー』を運行していない。有料特急を持たず、ほぼすべての列車が地下鉄線に直通することが特徴的である。利用時間が比較的短いため、着席保証より、大量の通勤客の輸送のために普通列車を多く運行するを重視しているようである。

- ・京急電鉄

京急久里浜線は、末端区間に単線を抱えているため、始発駅が三浦海岸駅であることが大きな特徴である。また、横浜、京急蒲田を通過するなど、三浦半島と都心の利用者に絞った運行がなされている。2本が運行され、朝ラッシュに使用しては乗降に時間がかかり遅延の原因になる2ドアクロスシート車両が充当されている。

### (3)現状分析

私鉄各社の『通勤ライナー』一覧(表 1-5-2-1 参照)からは、都心の到着時間で7時代後半～8時台前半になるものが東武鉄道伊勢崎線の「りょうもう6号」を除いて存在していないことが分かる。

どうしてこうなっているのか。原因は主に2つ考えられる。第一に、都心のターミナルの狭さである。阪急梅田、阪神梅田や南海難波、近鉄大阪上本町など関西私鉄は巨大ターミナルをもつため問題にはならない。しかし東京の多くのターミナルでは、ほぼ2分おきにやってくる列車により少ない数の線路で対応しなければならないことが多い。そのため車内点検を行う必要があり、折り返しに時間のかかる特急列車はラッシュの時間をさける傾向があるのである。

第二に、このピーク時は、膨大な数の通勤利用客を輸送する必要があることである。『通勤ライナー』の運行のためには、普通列車を退避させなければならないが、その結果前後の列車に乗客が集中し、ダイヤ乱れを発生させてしまう可能性がある。そのため、このピーク時には『通勤ライナー』を運行せず、普通列車による輸送力の確保に努めているのである。

以上のことから、多くの私鉄では朝ラッシュのピークとなる時間を避けて運行するのが基本的である。

会社	方面	名称	始発駅	終着駅	
小田急電鉄		メトロモーニングウェイ40号	本厚木	北千住 7:52	
		メトロモーニングウェイ42号	本厚木	北千住 9:38	
		モーニングウェイ90号	相模大野	新宿 6:27	
		モーニングウェイ92号	相模大野	新宿 6:48	
		モーニングウェイ70号	本厚木	新宿 7:00	
		モーニングウェイ72号	秦野	新宿 7:09	
		モーニングウェイ50号	藤沢	新宿 7:24	
		モーニングウェイ74号	秦野	新宿 7:40	
		モーニングウェイ76号	小田原	新宿 8:42	
		モーニングウェイ78号	秦野	新宿 8:59	
		モーニングウェイ60号	片瀬江ノ島	新宿 9:27	
		さがみ70号	本厚木	新宿 9:44	
	京成電鉄		モーニングライナー70号	京成成田	京成上野 6:35
		モーニングライナー72号	京成成田	京成上野 7:10	
		モーニングライナー74号	成田空港	京成上野 9:09	
		モーニングライナー76号	成田空港	京成上野 9:52	
西武鉄道	新宿線	小江戸2号	本川越	西武新宿 6:55	
		小江戸4号	本川越	西武新宿 7:08	
		小江戸6号	本川越	西武新宿 7:21	
		小江戸8号	本川越	西武新宿 8:47	
		小江戸10号	本川越	西武新宿 8:56	
		小江戸12号	本川越	西武新宿 9:13	
		小江戸14号	本川越	西武新宿 9:41	
	池袋線	むさし2号	飯能	池袋 6:20	
		むさし4号	飯能	池袋 6:38	
		むさし6号	飯能	池袋 6:55	
		ちちぶ8号	西武秩父	池袋 7:09	
		むさし10号	飯能	池袋 7:20	
		むさし12号	飯能	池袋 8:48	
		ちちぶ14号	西武秩父	池袋 9:09	
		むさし16号	飯能	池袋 9:33	
		ちちぶ18号	西武秩父	池袋 9:46	
			S-TRAIN102号	所沢	豊洲 7:24

表 1-5-2-1 私鉄各社を走る『通勤ライナー』一覧①

会社	方面	名称	始発駅	終着駅
東武鉄道	伊勢崎線	スカイツリーライナー2号	春日部	浅草 6:10
		スカイツリーライナー4号	春日部	浅草 6:43
	日光線・伊勢崎線	けごん206号	新栃木	浅草 7:06
		リパティけごん208号	新栃木	浅草 7:33
		きぬ110号	鬼怒川温泉	浅草 8:49
		しもつけ282号	東武宇都宮	浅草 9:11
		きぬ112号	新藤原	浅草 9:33
		桐生線・伊勢崎線	りょうもう2号	館林
	りょうもう4号		太田	浅草 7:22
	りょうもう6号		太田	浅草 8:18
	りょうもう8号		赤城	浅草 8:58
	りょうもう10号		伊勢崎	浅草 9:19
	りょうもう12号		葛生	浅草 9:43
	りょうもう14号		赤城	浅草
東上線	TJライナー2号		森林公園	池袋 7:05
	TJライナー4号	森林公園	池袋 9:11	
京王電鉄	京王線	京王ライナー2号	京王八王子	新宿 6:47
		京王ライナー4号	京王八王子	新宿 9:16
		京王ライナー32号	橋本	新宿 7:00
		京王ライナー34号	橋本	新宿 9:29
京急電鉄		モーニング・ウィング1号	三浦海岸	品川 7:28
		モーニング・ウィング2号	三浦海岸	泉岳寺 9:22
※りょうもう14号は途中停車駅の北千住に9:51に到着				

表 1-5-2-2 私鉄各社を走る『通勤ライナー』一覧②

### 3. まとめ

以上、JR線と私鉄各社の『通勤ライナー』の現状を分析してきた。どちらも、ごく一部の例を除き、基本的には朝ラッシュのピーク時(午前8時から8時半)を避けて『通勤ライナー』が運行されていることが分かった。膨大な利用客をさばけるだけの輸送力確保や設備面での問題から、ピーク時を避けた運行がなされているため、このような運用がなされていると思われる。

しかし一方で、しおさい4号やりょうもう6号などの『通勤ライナー』は、ピーク時に都心に到着するような運用がなされている。ここにおいて以下の疑問が生じる。すなわち、なぜラッシュピーク時にこれらの「通勤ライナー」が運行されているのか。また、ピーク時に『通勤ライナー』を走らせることは、他の列車の混雑増加など、なんらかの影響を及ぼしてい



るのではないか、という問いである。

次章以降では、調査に基づきこれらの問いに対する考察を進めていく。